



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

まちづくり支援事業活発に

市民センターが継続的に実施

志津南市民センターは、まちづくり協議会活動への参画につながるよう支援することを目的とした「お茶うけミーティング」や、高齢者や地域住民の活動支

援、コミュニティ意識の向上を図るための「高齢者等つどい事業」などを並行して行っています。既に、「お茶うけミーティング」として「災害時要



「石テアソブ」の作品展示会

援者避難支援プラン」の説明会や、「石テアソブ」と題して、石にペイントした野菜や列車などの展示会のほか、篆刻の作品展示会も市民センターサロンで行いました。

さらに、つどい事業で

は、「昔の草津の写真で語りましょう」と題して、11月12日、

五丁目集会所で実施しました。また12月に、初心者の方にパソコンの楽しさを知ってもらうための「パソコンを触ってみよう」を3回シリーズで行います。今後も継続的に諸事業を予定していますので、皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

歩道の改修工事始まる



改修工事が進められる歩道

かがやき通りに面した若草五丁目ZTVから若草通りまでの歩道約百mで改修工事が行われています。街路樹の根っこを隆起などで、歩道に部分的な地割れや段差が生じつまづきや転倒が懸念される状態でした。

工事は平成19年度から始まった志津南地区全体の歩道改修年次計画の一環です。とくに五丁目住民の方々やバス停利用のみなさんにはご不便とご迷惑をおかけしますが安全快適な街づくりのためにもご理解とご協力をお願いいたします。工事は12月中旬まで行われる予定です。管理窓口は草津市道路課です。

12月を火災

予防月間に

志津南地区自主防災連絡会(結城隆之会長)は、12月を火災予防月間とし、回覧やCATV放送で地域住民に火災予防を訴えていくことにしています。

期間中、子ども会と連携して「火の用心」の習字作品を募集するほか、家庭用小型消火器、火災警報器の常備を呼びかけることにしています。

年末のなにかとあわただしい時期、くれぐれも火の元にご注意いただくようお願いいたします。

調整池の浚渫工事終わる



すっきりサッパリした調整池

8月から行われていた一伯母川調整池(若草診療ビル裏側)の浚渫工事が予定通り10月中旬をもって完了しました。

面積1・6畝の広大な池に堆積した30年分の土砂の搬出工事は予想よりも難航した様子で一時工事がストップした時期もありましたが、何とか予定通り終了して本来の風景が戻ってきました。

除去した土砂は5千500t、大型タンクカーで約1200台分に達

しました。一原風景がコレか?と思うほど、当初の風景が思い出せません。当たり前なのですが「意外と殺風景」と感じるほどありません。愛犬と共に通りがかった優しそうな婦人がつぶやいておられました。「生い茂った湿地に棲みついていた生きものたちは無事どこか新しい棲家に引っ越しが出来たかしら?」

と。そのつぶやきに「人間の都合が優先されて犠牲となっている自然」、人工と自然は共生できないのか?ふと感傷的な思いに誘われました。

楽しくハロウィーン 南っ子が町内に繰り出す



訪問宅でお菓子をもらう南っ子たち

「わんぱくプラザ南っ子」恒例の「ハロウィーンパーティー」を楽しむ「う」が10月16日に行われました。ハロウィーンは日本のお盆にあたる「万聖節」の前夜祭(10月31日)のことで、秋の収穫を祝い、亡くなった家族や友人たちを尊びしのぶ行事です。

今年は昨年と趣向を変え、手作りの衣装で町内を巡回することにしました。

3年生〜6年生の子どもたち21人が午前中は子ども会、PTA、地域の協力者のみなさんが事前に仮縫いして準備したマント、スカートや帽子などに、思い思いのモールのパーツやフェルトでカボチャやお化け、星型などを作り張り付け個性豊かな衣装に仕上げました。

昼食後、完成した衣装を身に付けて2班に分かれ、お願いしていた協力者の方々のお宅を訪問しました。

訪問先では、子どもたちが「トリック・オア・トリート」と声をそろえようと、協力者の方が「ハッピーハロウィーン」と応え子どもたちにお菓子を手渡しました。

作った衣装は、10月31日の本番の日にご家庭で楽しんでもらうよう子どもたちが家を持って帰りました。

協力していただいた地域のみなさん、巡回中に声をかけていただいたみなさん、ありがとうございました。

草津川の源流で景観を楽しむ参加者



草津川の源流訪ねる 環境講座で川の水質も

市民センターの環境講座「草津川の源流を訪ねて」が環境文化推進市民会議の山本勘六先生を講師に10月23日行われました。

参加者は上桐生バス停から徒歩で草津川(伯母川)の源流、日本の治山事業発祥の地「オランダ堰堤」へ。ここで若草地区の伯母川で採集した水と堰堤の水質の違いを比較検査(パックテスト)した結果、若草地区の水質はコイ、フナが棲め、農業用水に使うことが出来る水と判定されました。

ガイドの説明に耳を傾ける参加者



やすらぎ学級が平城京へ

さわやかな秋風のもと、やすらぎ学級の館外研修が10月27日行われ、平城遷都1300年祭会場の平城京跡を訪ねました。

同会場ではガイドさんから710年に遷都された平城京の歴史をあらかじめ学習、グループに分かれてガイドツアーに出かけました。

唐(当時の中国)の文化を求めて日本との間を行きかかった遣唐使船、平城宮の女関口となる朱雀門、天皇の即位や外国使節

このあと、鎌倉時代の「逆さ観音」や沢筋で水の流れを眺めながら「落ヶ滝」を訪ね、大きな岩壁と独特の景観を楽しみました。

予定時間より早く終了したので、金勝寺まで足を延ばし、一足早い紅葉の上桐生・湖南アル

プスの環境と源流探索、歴史を満喫しました。

元気に研修に参加した5年生



5年生リーダー研修

志津南地区子ども会(西脇達会長)は10月23日、秋晴れの

ロクハ公園デイキャンプの森で5年生リーダー研修を行いました。

参加した子どもたち13人は、必要な買い物をしたあと自転車で行った。薪を割り、火をおこし、飯台でご飯を炊いてカレーを作りました。

子どもたちにとって、初めて経験する作業ばかりでしたが、自転車の移動も含め、けがもなくとても有意義な時間を過ごすことができました。

ぜひ、来年の5年生も参加してみてください。

平和祈念講演会開く



志津南地区社会福祉協議会（小野栄祐会長）の「平和祈念講演会」が10月23日、市民センターで開催され、約100人が参加しました。写真。

今回は、市内西蓮寺の住職、上寺和親さんを講師に招いて「ふるさと」を基調に《いのちのつながり》《ともに生きること》《を考えよう》と題して、ふるさとの大切さ、いのちの大切さについて話していただきました。

参加者同士が仲間意識を持てるよう1分間でできるだけ多くの人と握手をするゲームを行ったあと、「お月さま」「故郷」「朧月夜」「紅葉」などの歌を参加者全員が合唱するなど、ごやかな雰囲気になりました。

上寺住職は講演の中で「私たちは、決して自身の力だけで存在しているのではなく、多くの人の縁、人のみならず動植物が共生し、互いに縁があったからこそ存在している」とした上で「人間が生きていくためには、

食べていかなければならないが、その食べものを調理してくれた人、生産してくれた人、そして何よりもその植物や動物の大切な命をいただいていることへの感謝の心を忘れてはならない」と説きました。

また「そうした縁、共生、感謝を大切にし、相手を思いやるところに人権意識が育まれ平

ふれあいお茶会にぎわう



なごやかに談笑するお茶会参加者

ボランティアグループ泉は10月24日、地区社協の平和祈念講演会に合わせて恒例のお茶会を市民センターで開催しました。

大きなつぼ型の花器にすき・かわい柿の小枝・モチノキ・花ホトトギス・秀明菊・赤い実をつけ紅葉しはじめたハナミズキなど近くで求めた花木を掛け、保貴金造さん（八丁目）が制作した篆刻の掛け軸を掛けてもらったり、水屋では手作りの抹茶碗、お菓子など「二期一会」のおもてなしを用意、地域のみなさんが気軽に立ち寄っていただける

- こよみ**
- 11月19日（金）
 - ★生活習慣病予防料理講習会 10：00～13：00
 - 11月20日（土）
 - ☆健康ウォーキング 8：15 若草中央公園集合
 - 11月24日（水）
 - ★やすらぎ学級 13:30～17:00
 - 11月26日（金）
 - ★公民館一斉清掃と消防訓練 09：00～12：00
 - 11月27日（土）
 - ☆社会奉仕 8：30中央公園集合
 - 11月30日（火）
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会 10：00～11：30
 - 12月2日（木）
 - ★お茶うけミーティング
パソコン講座①13:30～15:30
 - 12月3日（金）
 - ★定例健康相談日 9：30～12：00 市健康推進課
 - 12月4日（土）
 - ☆健康ウォーキング 8：45 若草中央公園集合
 - 12月9日（木）
 - ★お茶うけミーティング
パソコン講座②10:000～12:00
 - 12月10日（金）
 - ☆ふれあいバスツアー 9：30～15：00
 - 12月14日（火）
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会 10：00～11：30
 - 12月15日（水）
 - ★やすらぎ学級 13:30～17:00
 - 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶（お茶の間） 10：00～12：00 若草第五集会所
- ★印の場所は志津南市民センター（公民館）です

盛大にGゴルフ大会



好スコアが続出した大会

草津若草郵便局主催「若寿会・若草一味クラブ共催の「ありがとう ふれあいクラウンドゴルフ大会」が10月16日、若草中央公園で行われました。

当日は五十三名の参加があり、秋晴れのもと、クラウンドの状況もよくホールインワンが続出、

よっにお茶席を設けました。また、講演を聞き終えた方々も大勢立ち寄ってくださり、一服のお茶とお菓子でお茶席はい

和な社会が築かれる。戦争は、最大の人権侵害である」と平和の尊さを訴えました。

最後に上寺住職は「市民センター前にある『ひと まち ゆ

ちだんと談笑の輪もひろがり、ゆったりとごやかにひとときを過ごしました。（ボランティアグループ泉）

好スコアの戦いとなりました。終了後、高崎若草郵便局長が「日頃の練習の成果を発揮され楽しい一日でした。みなさんのますますのご健勝を祈念いたします。本日の大会の準備運営にお世話いただいた役員のみなさんまありがとうございます」とあいさつしました。

成績は次の通り。

1位	中野 操	37
2位	奥田隆三	37
3位	西島秀樹	38
4位	藤村英二	39
5位	奥田澄子	39

【団体戦】

1位	7丁目	206
2位	4丁目	208
3位	3丁目	213

【個人戦】

5年生がおにぎり収穫祭

志津南小学校5年生が農家の指導を受け春に田植え、秋に稲刈りをしたお米を使いお年寄りにも届けようと10月22日、収穫祭を行いました。

この日、志津南地区健康推進員連絡協議会では「おにぎりづくり」の指導依頼を受け、手伝いに出向きました。

5年生46人は調理室で健康推進員の指導を受けながら、新米を洗い「鳥かまめしご飯」と「白米」を炊き上げておにぎりをつくりました。



お年寄りにおにぎりを手渡す児童たち

手にラップを広げお茶碗1杯分のご飯を受け取り三角おにぎりになるよう上手に作り上げました。

「手のひらが熱かったけどとても楽しかった。すごく美味しい」などと言いながら、試食では給食後にもかかわらず2

若寿会が雑巾寄贈

若寿会（奥田隆三会長）は10月26日、志津南小学校、志津南公民館、若草くるみ保育園、第五集会所の四者に恒例の雑巾寄贈を行いました。

10月に入ると会員が用意された雑巾が集まりました。今年は、百十枚が集まりました。寄贈先では「心のこもった雑巾、ありがとございます。大切に使用させていただきます」とお礼の言葉をいただきました。若寿会25年の伝統ある行事としてこれからも続けていきたいと思

います。「たかが雑巾、されど雑巾」小さい事業ですが、明るい気持ちになりました。会員のみならず、ご近所の方にもお話を聞かれました。

個食べた児童もいました。

このあと、プレゼント用の「おにぎり」を入れたパックに「みんなで頑張って作りました。とても美味しいです。どうぞ食べてください」と書いたメッセージの帯を付けました。

そして午後、5班に分かれた児童たちはプレゼントのおにぎりを手に民生委員・児童委員も同行し独り暮らしの高齢者へ。

少し緊張気味の児童たちは笑顔で迎えられるとハキハキした言葉で「おいしいおにぎりを作りました。どうぞ食べてください」

「いつまでもお元気でいてください」と手渡すと「毎年ありがとう」「みんなで作ってくれたの！」と、なごやかな言葉が交わされ、笑顔の児童たちは足取りも軽く帰途につききました。

ワード講座開催

市民センター主催の「ワードをもっと活用しましょ」(3回シリーズ)が10月18日、同センターで始まりました。

図形の描き方や色のつけ方などを学んだあと、案内状をつくり、お気に入りの写真を入



マウスを使って図形づくり

て、自分だけのマイカレンダーを制作しました。

マウスの細かい操作に苦心する場面もありましたが、図形を巧みに組み合わせるとオリジナル年賀状づくりに挑戦。「来年の年賀状は、ぜひ自分でつくってみよう」と、参加者は意欲を見せていました。

初心者パソコン講座

市民センターはお茶うけミーティング事業の一つとして講座「パソコンを触ってみよう」を次の要領で開催します。

日時 ①12月2日(木)

午後1時半

午後3時半

②12月9日(木)

③12月16日(木)
②③共、10時～正午
内容 マウスの使い方、ワード、エクセル、インターネットの楽しさを体験
対象 志津南地区在住で

初心者の方
受講料 無料
場所 志津南市民センター
定員 10人(先着順)
申込み 志津南市民センターへ直接お申し込みください。

折々の記

今年は何年にもない猛暑が続きましたが、若草地区では軽い熱中症の方があつた程度で大したことがなく無事に過ぎ、ようやく秋を迎える候となりました。

毎週金曜日
に第五集会所
で開かれてい
る、ふれあい喫茶「お茶の間」
は午前十時頃には開店してお
り、お世話をしていただいて
いるスタッフがお待ちしてお
られます。

ふれあい喫茶考

そのふれあい喫茶「お茶の間」に私もお茶代とお菓子代の百円をもって出かけたところ、15人ほどの方が参加されて、和気あいあいとお話を交わされていらっしやいました。

そこで感じたことを少し書かせていただきます。
現在、各地区で災害時に支援を必要とする人々を把握する活動を行っています。万
一、大きな災害が発生した時、避難に役立てるために行つて
いるものですが、この「お茶の間」のような気軽に来られる場所がありますので、毎週
とは言いませんが出来るだけ顔を出して皆さんと話し合う
機会を持つ
ていただく
ことにより、
災害時に避難場所顔見知り
の方が見えない場合に「どう
されたのか」などと少しでも
役立つのではないかと思います。

こうした場合に備えて、現在
在こられている方が隣近所ま
た、友達を誘い合い、一人で
も多く参加していただくこと
を期待したいと思います。
(参加者の一人)